

# EVENT SCHEDULE

※写真はすべてイメージです。  
※予定は変更される場合があります。

## 11 November

<p>14 18:30 水 20:30</p>	<p>100年後の地域の未来を考えます <b>藤川未来まちづくりフォーラム</b></p> <p>東部地域交流センター・むらさきかんと道の駅「藤川宿」のオープンを迎え、今、藤川まちが大きく動き出そうとしています。地域の未来は市民の手でつくる。未来に生きる子どもたちに、この地域の素晴らしさを伝え遺していくための手がかりとして、藤川地区における地域ファンド(基金)の可能性について探ります。</p> <p>● 無料(定員180名・当日先着順) ● 東部地域交流センター・むらさきかん ● NPO法人岡崎まち育てセンター・りた Tel.0564-23-2888</p>
<p>17 13:00 土 16:00</p>	<p>老人クラブの新たな活動を目指します <b>老人クラブ交流会</b></p> <p>上地学区の八つの老人クラブが一同に会し、親睦から地域の問題解決へ繋げる交流会を開催します。</p> <p>● よりなん 第6活動室 ● 南部地域交流センター・よりなん Tel.0564-59-3600</p>
<p>17 15:00 土 18:00</p>	<p>楽しくてホッとできる空間にぜひご来場ください <b>ワンデイサロン in りぶらまつり</b></p> <p>りぶらまつりで団体および個人の舞台発表や手作り品の販売を行います。</p> <p>● 無料 ● 岡崎市図書館交流プラザ・りぶら ホール ● りぶら市民活動センター Tel.0564-23-3114</p>
<p>18 14:00 日 17:00</p>	<p>活動に興味のある方必見です <b>まちフェス in りぶらまつり</b></p> <p>中央地域を中心に活動している団体がりぶらまつりで日頃の活動発表および団体のPRを行います。</p> <p>● 無料 ● 岡崎市図書館交流プラザ・りぶら ホール ● りぶら市民活動センター Tel.0564-23-3114</p>
<p>18 13:30 日 16:00</p>	<p>地域活動を知り、皆さんで支援をしてみませんか? <b>北部地域活動報告会</b></p> <p>岡崎市の北部地域を盛り上げよう、文化・伝統を守っていかうと活動されている団体が集まり、各々の活動を発表します。</p> <p>● 無料 ● なごみん ホール ● 北部地域交流センター・なごみん Tel.0564-66-8251</p>

<p>21 18:30 水 20:30</p>	<p>藤川在住の方、藤川に関心のある方、ご参加ください。 <b>歴史文化まちづくり教室「藤川塾(自然編)」</b></p> <p>自然科学研究機構名誉技官の大平仁夫先生をお迎えし、藤川地区の自然について学びます。</p> <p>● 無料(定員30名・先着順) ● 東部地域交流センター・むらさきかん ● 藤川学区総代会長 鈴木 忠氏 Tel.0564-48-3635 FAX0564-48-3635</p>
<p>24 10:00 土 15:00</p>	<p>昭和レトロなまちで素敵なお時間を <b>松應寺横丁にぎわい市</b></p> <p>今回は、飲食・物販の縁日に加えて、Jazzライブや演劇、昔の料亭の内覧会など盛りだくさん! Facebookで「松應寺横丁にぎわい市」「松本なかみせ亭」をチェック!!</p> <p>● 無料 ● 松應寺境内(松本町42) ※駐車場なし ● 松應寺社務所 Tel.0564-22-6863</p>

## 12 December

<p>1 13:30 土 17:00</p>	<p>地域のことに関心のある方、必見です! <b>愛知産業大学大学院・延藤安弘氏最終講義「夢のようなことを実現するコミュニティデザインへ」</b></p> <p>ゲスト講師の講演や鼎談を交え、コミュニティの在り方を考える、愛知産業大学大学院・延藤安弘先生の最終講義です。</p> <p>● 無料(200名・先着順) ● 東部地域交流センター・むらさきかん ● 愛知産業大学大学院 入試広報センター Tel.0564-48-4804 FAX0564-48-4940 E-mail:kouhou@asu.ac.jp</p>
<p>1 17:00 土 20:30 24 月</p>	<p>来館者の手作りの飾りがツリーに飾られます <b>クリスマスイルミネーション</b></p> <p>よりなんの正面入口を手作りのイルミネーションが彩り、館内には大きなクリスマスツリーが飾られます。</p> <p>● よりなん 正面玄関および館内 ● 南部地域交流センター・よりなん Tel.0564-59-3600</p>



## 01 雨

雨が嫌いになったのはいつからだろう。

どしゃ降りの雨の中、傘もささずに下校している小学生を見てふと思った。

ぼくも小学生の頃はよくびっちょんこになって帰っては、教科書をふにゃふにゃにしたものだ。その非日常感が意外と楽しかったのを覚えている。

それが成長するにつれて、ケータイが壊れるだの、靴がどろだらけになるだの、前髪がうねるだのといって、かすかな雨でさえ煩わしく感じるようになっていった。

とはいっても、雨の全てが嫌いなわけじゃない。

雨が降り始めたときのあの独特なおい、一定のリズムで打ち付けられる雨音、浅いと思って踏んだ水たまりが意外と深かったときのしてやられた感、雨上がりに陽

の光で輝く雨粒や木の葉、ほんとに小さなことばかりだが、雨が降るから感じられる感動ばかりだ。

びっちょんこの小学生をみて楽しそうだなあと思いつつ、今日もぼくは窓越しに雨を眺める。帰るときには止んでくれと。 (H)



01

神は細部に宿る

Mies van der Rohe

まちなみは細部に宿る

Takahiro Yamada



## 02 むらさきかんが紫の花で染まるころ

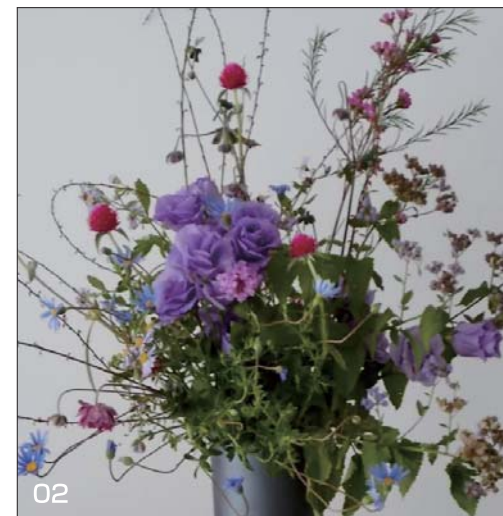
むらさきかんがオープンして2ヶ月が経つ。オープニングの日から館内では「あなたのまちの宝物マップ」と題して、岡崎の大きな地図上に地域自慢したい場所を、来館者に記入いただいていた。その中に、一際私の心に残っている投稿がある。それは、「おススメしたい場所はむらさきかん。その理由は、一年中紫の花が咲いています、富良野のラベンダーのように」というものだ。

今のむらさきかんには、残念ながらそのような場所はない。むらさきかんの名前は、所在する藤川町のシンボルカラーが紫であることに由来するが、まだ紫らしさを打ち出せていないのが現状である。それなのに、どうしてそのような投稿があったのか……。

実は前述の投稿は、私の知人が書いたものであった。知人といっても、年は私の親と同年代のご婦

人である。当時その方は身体の具合が悪く、とても家から出られる状態ではなかったが、むらさきかん開館に合わせて来て下さり、むらさきかんがこのような場所になってほしいと願って書いてくださったものだった。

先日、ある講演会の後で、その方が生けた紫の花をいただいた。トルコキキョウや千日紅である。その花は残念ながらやがて枯れてしまったが、いつの日か、いつでも紫の花々に彩られ、来館された方を楽しませられるセンターにしたいと思っている。 (K)



02

## 03 まちなみの営み

「お花植えてくれたの、あなたたち？」

松本町は松應寺の境内の一角——ここには昭和にタイムスリップしたような路地とまちなみが今でも残る——に生まれた、にぎわいとまちなみづくりの拠点「松本なかみせ亭」。オープン準備をしていた時に、近所の方に尋ねられたが、僕らは「???」。

なんでも、地域の方々がなかみせ亭が開店して人がたくさん来るのならまちをきれいにしておかないと、ということで、道端に積み重ねられていた植木鉢を片づけ、余った土で花壇をつくったところ、今日になったらそこに花が植えられていたと云うのだ。

後日、その花は別の地域の方が植えてくださったことが判明した。あくる日には、誰が植えたか、その花壇に風ぐるまが仲間入り。

ある日、朝早くなかみせ亭に行くところ、表通りから木造の参道アーケードを通り、なかみせ亭の前までじょうろで水が撒かれた形跡。

なかみせ亭にいと、「ちょっと草刈るね」と隣の空き地をきれいにする近所の方の姿。

ささやかな人の息吹とおもてなしの心が見え隠れする松本町。こうして、人知れずまちなみが営まれている。 (A)

松本なかみせ亭

住所：岡崎市松本町4-2  
営業日：金・土・日・月  
営業時間：13:00~17:00  
電話番号：070-5440-7488

※営業日等は変更になる場合があります。電話でご確認下さい。



03